

公益財団法人新潟市海洋河川文化財団
令和4年度 第1回評議員会議事録

1 開催日時

令和4年6月13日（月） 10時00分から11時00分まで

2 開催場所

新潟市水族館マリニピア日本海 2階団体休憩室(新潟市中央区西船見町 5932-445)

3 評議員現在数及び定足数

現在数7人、定足数4人

4 出席評議員数 7人

(出席) 鈴木倫明 評議員、雲尾周 評議員、田辺匡史 評議員、山口誠二 評議員、斎藤聖治 評議員、松本まいこ 評議員、菊池美和 評議員

5 出席理事及び監事

(理事) 高橋道映 理事長(代表理事)、長浜裕子 専務理事(代表理事)

(監事) 中野力 監事

6 その他出席者

(事務局) 石田孝 事務局長、野村卓之 水族館長、大和淳 副館長、斎藤淳 管理課長、佐々木美智子 管理課主査

(オブザーバー) 遠山貴之 新潟市文化スポーツ部文化政策課係長

7 決議事項

議案第1号 令和3年度事業報告及び決算の承認について

8 報告事項

職務執行状況報告書について

9 議事の経過の要領及びその結果

(1) 出席者の確認及び議長の選出

石田事務局長が出席者の紹介を行い、配付議案の確認をした。その後、定款並びに評議員会運営規程に基づき鈴木評議員が互選により議長に選出され、鈴木議長が開会宣言を行った。

(2) 評議員の出席状況の確認及び議事録署名人の選出

鈴木議長が、評議員会運営規程に基づき事務局へ出席状況の報告を求め、石田事務局長より定款並びに評議員会運営規程に規定する評議員の過半数の出席を満たしており、本評議員会は有効に成立している旨の説明を行った。

議事録署名人は定款並びに評議員会運営規程に基づき鈴木議長並びに議長の指名により山口評議員及び斎藤評議員とし、議案の確認後、審議に移った。

(3) 議案第1号 令和3年度事業報告及び決算の承認について

鈴木議長が上記議案について、石田事務局長からの説明を提言した。これを受け、石田事務局長が事業報告及び決算について次の内容の説明を行った。

事業報告

公益目的事業

1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

(1)海洋・河川文化の普及啓発 (2)海洋・河川文化の調査研究 (3)海洋・河川文化の保護保全

2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

(1)水生生物に関する知識の普及振興 (2)水生生物の収集、飼育、展示
収益事業

1 施設管理に付帯する事業

決算

財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録）に基づき資産、負債、正味財産の状況及び公益認定の財務基準である収支相償、公益目的事業比率（95.3%）を満たしている旨

続いて、中野監事より業務執行は適正に行われていたこと、財政状態及び会計決算については、財務諸表に適正に表示されていたと報告があった。

説明終了後、本議案に関して、次のとおり質疑応答があった。

（菊池評議員）対象とする人の幅が非常に広い。また、事業についても様々な分野で実施している。昨年も申し上げたが、イベント数が非常に多く、正職員 28 名で全てこなしているとは数とは思えない。指定管理者としてしっかりやられていて、水族館は普及啓発も大切な業務であると理解している。ただし、飼育の現場はしっかり生物を飼育し、展示することが基本である。このような中で事故が発生しないか、また、職員の健康管理が疎かになっていないか心配である。公共施設は、市民からの声を吸い上げることが使命となるが、バランスを考えるべきではと思う。

（石田局長）毎月衛生委員会を開催し、職員の時間外勤務、休暇取得、勤務間インターバルなどを把握している。これらの勤務状況をみて職員の健康管理を行っていきたい。

（野村館長）事業計画委員会を設置し、イベントの数を減らした計画を立てたが、実施していく中で少しずつ増え、結果的に例年と変わらない結果となったが意識はしている。また、企画展などは会場設営の委託、外注により職員の省力化を図っている。

（雲尾評議員）「各種施設との連携」について、連携先を教えてください。

（大和副館長）「にいがた環境フェスティバル」は、新潟県と連携し主催したイベントに参加した。「第 4 回ちょ〜いきもの発表会」は、にいがたダイバーシティネットワークを母体とした生きもの発表会実行委員会と連携し、企画及び運営に携わった。「舟にのって水草刈りと泥上げ体験」は、新潟市歴史博物館みなとびあと連携し、学芸員による講演を行った。「小児病棟 ライブ配信」は、記載の病院に向けて配信した。「総合学習の受け入れ」は各学校と連携し実施した。

（雲尾評議員）3 ページ(2)海洋・河川文化の調査研究と(3)海洋・河川文化の保護保全で内容が重複しているものがある。「再掲」と記すべきである。違う内容と読み取れる。また、5 ページ「写真教室」の語尾は、「行う」ではなく「行った」であ

る。

(石田局長) ご指摘のとおり次回修正する。

(菊池評議員) 新型コロナウイルス感染防止対策について、館として実施していることや成果について教えてほしい。

(斎藤課長) 入口にサーモカメラを設置し検温や館内各所にアルコール消毒液の設置、館内放送での注意喚起を行っている。また、繁忙期には開館時間を1時間繰上げ、入館者の平準化を図り、結果的に時間帯別のピークが緩やかになった。さらに、館内ではイルカショーや給餌解説の時間帯を同時刻にして、館内でも来館者を分散化させた。

(4) 職務執行状況報告書について

鈴木議長が上記報告事項について、長浜専務理事からの説明を提言した。これを受け、長浜専務理事が次の内容についての報告を行った。

第1回理事会の報告について

事業報告及び決算の承認、個人情報保護規程の一部改定、評議員会の開催について、全議案原案どおり可決された。

新潟市水族館の管理運営について

令和3年度においても新型コロナウイルス感染拡大の影響が響き、臨時休館や事業の一部中止の対応を行った。十分な感染拡大防止の対策を行いながら、最終的な入館者数は418,578人、対前年度比114.9%。入館料収入は334,293,906円、対前年度比112.9%であった。今年度に入ってから状況は、4・5月の入館者数は87,526人、対前年度比141.2%、入館料収入は76,176,056円、対前年度比147.2%、であった。特にゴールデンウィークは昨年度と比較し2倍近い数字となった。

生物の飼育状況（カマイルカ等）について

カマイルカについて、3年連続の出産があった。

3年前に出産したカマイルカが現在妊娠しており、出産は8月中旬を予定している。ウミガラス5羽について、設備の不具合から借り受けた東京都葛西臨海水族園へ一時的に避難させ、展示を一時中断した。なお、先日呼吸器系の病気で1羽死亡した。

月次監査（外部）の報告について

毎月、外部から監査をしてもらい適正に会計処理がされている旨の報告を受けている。報告終了後、次のとおり質疑応答があった。

(菊池評議員) 今年、再びカマイルカの出産を控えているが、イルカプールが手狭になることはないのか。

(野村館長) 現状の施設での収容頭数は10頭が限界であると考えている。今後、当館で生まれた雄の個体が成熟するまでに、他園館と情報交換しながら対応していきたい。

(菊池評議員) ウミガラスの死亡原因についてアスペルギルス症の疑いとのことであるが、空調設備の点検等、飼育環境は適正に保たれていたか。

(野村館長) 他の個体は特に問題ないので、空調設備と死亡との関連はない。空調設備

については、ウミガラス搬入にあたり、抗菌仕様の設備を整え万全を期した。

(松本評議員) 最近、水族館のCMなどをテレビで放映されているのを良く見る。子どもが見て大変喜んでいる。私たちの年代がターゲットだと思うが、数多く宣伝しているのは良いことだと思う。

(長浜専務) 昨年度までTeNYの番組内でコーナーを持っており、月1回約10分放送していたが、今年度からは、週1回約1分半に変更した。回数が増えたことにより目にする機会が増えたと思われる。

(山口評議員) テレビCMを福島など、県外に放映しているか。

(斎藤課長) コロナ禍前においては、繁忙期前に県外へ集中して放映していた。コロナ禍になってからは、県を跨ぐ移動が難しくなったことから、県外へのボリュームは少なくし、県内中心に放映していた。今後は、感染状況を見ながら県内外のバランスを図っていきたい。

(高橋理事) 開発公社から分社して以降、評議員の皆様から応援、助言をいただき大変感謝している。社会におけるの海洋・河川文化の重要性を啓発し、日本一の水族館を目指して行くので、引き続き応援をお願いしたい。

以上をもって、全ての議案の審議及び報告を終了したので、議長は11時00分に閉会を宣言した。

上記の議事の経過の要領及びその結果並びに報告事項が正確であることを証するため、議長及び出席した評議員2人は記名押印する。

令和4年6月13日

公益財団法人新潟市海洋河川文化財団

評議員会議長

鈴木 倫 明

評 議 員

山 口 誠 二

評 議 員

斎 藤 聖 治
